

令和6年度 第2回・第3回用 危険物取扱者試験 試験案内



消防法（昭和23年法律第186号）第13条の5第1項の規定により富山県知事から委任された危険物取扱者試験を次のとおり実施します。

試験案内は最後までよく読んで、記載されている内容に同意した上でお申し込みください。
申し込まれた方は、試験案内に記載されたすべての事項に同意されたものとみなさせていただきます。

◆令和6年度第2回・第3回 試験の日時、会場、種類及び受付期間

回	試験日	開始時間	試験種類	受験地	試験会場	受付期間			
						書面申請	電子申請		
第2回	10月13日(日)	10:00	乙種第4類	高岡市	高岡商エビル (高岡市丸の内1-40)	8月26日 (月)	8月26日 (月) 9:00		
		13:30	甲種・丙種 乙種第1~6類						
	10月19日(土)	9:30	甲種	富山市	富山国際会議場 (富山市大手町1-2)			}	}
		13:30	乙種第1, 2, 3, 5, 6類 丙種						
	10月20日(日)	10:00	乙種第4類	魚津市	ありそドーム (魚津市北鬼江2898-3)			9月3日 (火)	9月3日 (火) 23:59
		13:30							
	10月26日(土)	10:00	乙種第4類	富山市	ボルファートとやま (富山市奥田新町8-1)			12月9日 (月)	12月9日 (月) 9:00
		13:30	甲種・丙種 乙種第1~6類						
令和7年 2月1日(土)	10:00	乙種第4類	高岡市	高岡商エビル (高岡市丸の内1-40)	12月17日 (火)	12月17日 (火) 23:59			
	13:30						甲種・丙種 乙種第1~6類		
令和7年 2月2日(日)	9:30	甲種	富山市	高岡商エビル (高岡市丸の内1-40)	}	}			
	13:30	乙種第1, 2, 3, 5, 6類 丙種							
令和7年 2月9日(日)	10:00	乙種第4類	高岡市	高岡商エビル (高岡市丸の内1-40)	受付終了日 の消印有効	}			
	13:30	甲種・丙種 乙種第1~6類							

- (注) 1. 受験願書の受験地欄には、上表網掛け太枠部分の **受験地** を記入してください。
2. 乙種第4類の試験は、受験者数により、午前と午後に分割して実施しますが、午前・午後の試験時間帯は当支部が指定（受験票に記載）し、受験者本人が選択することはできません。
3. 試験会場の収容人員等の関係により、会場、時間等を変更する場合がありますので、ご了承願います。
4. 電子申請は、受付期間中24時間受付可能です。ただし、毎週土曜日の午前3時～午前5時は、システムメンテナンスのため、受付を中止しています。

危険物取扱者試験の試験手数料に関する重要なお知らせ

令和6年5月1日から試験手数料が改定されております。
令和6年5月1日以降に申請する試験は新手数料となりますので、この試験案内の5ページをご確認のうえ、誤りのないよう払い込みをお願いします。
第2回、第3回の試験を旧手数料で受験申請された場合には、差額の払込みが必要となりますのでご注意ください。

1 受験願書受付場所

一般財団法人 消防試験研究センター富山県支部
 〒939-8201 富山市花園町4-5-20（富山県防災センター2階）
 TEL 076-491-5565

- （備考） ● 受験願書は郵送又は持参にて受付します。
 ● 郵送する場合は、不着によるトラブルを避けるため、「**簡易書留郵便（受付最終日の消印有効）**」で送付してください。
 ※普通郵便等での不着の場合、当センターは一切関与いたしませんのでご了承願います。
 ● 持参する場合は、受付期間中の平日 9:00~17:00までにお願います。
 （時間外の場合、封をして防災センターの郵便受けに入れてください。）
 ● 記入事項が不備なもの及び郵送消印の日付が期限を越えているものは、受付できません。
 ● 書面申請は受付締切日以降、電子申請は申請の受付完了以降は、「試験日」・「試験の種類」等、**申請した内容の変更及び取消し**はできません。

2 試験の種類と取り扱うことができる危険物

危険物取扱者免状には甲種、乙種及び丙種の3種類があります。甲種・乙種は取扱作業及びその立会い、丙種は乙種第4類危険物のうち指定された危険物に限り取扱作業をすることができます。

試験の種類		取り扱うことのできる危険物	
甲 種		すべての種類の危険物	
乙 種	第1類	酸化性固体	塩素酸塩類、過塩素酸塩類、無機過酸化物、亜塩素酸塩類 等
	第2類	可燃性固体	硫化リン、赤りん、硫黄、鉄粉、金属粉、マグネシウム 等
	第3類	自然発火性物質及び禁水性物質	カリウム、アルキルアルミニウム、黄りん 等
	第4類	引火性液体	ガソリン、アルコール類、灯油、軽油、重油、動植物油類 等
	第5類	自己反応性物質	有機過酸化物、硝酸エステル類、ニトロ化合物 等
	第6類	酸化性液体	過塩素酸、過酸化水素、硝酸 等
丙 種		引火性液体	ガソリン、灯油、軽油、重油 等

3 試験種類、試験科目、問題数及び試験時間

試験種類	試験科目	問題数	合計	試験時間
甲種危険物取扱者試験	① 危険物に関する法令（法令）	15問	45問	2時間 30分
	② 物理学及び化学（物化）	10問		
	③ 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）	20問		
乙種危険物取扱者試験	① 危険物に関する法令（法令）	15問	35問	2時間
	② 基礎的な物理学及び基礎的な化学（物化）	10問		
	③ 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）	10問		
丙種危険物取扱者試験	① 危険物に関する法令（法令）	10問	25問	1時間 15分
	② 燃焼及び消火に関する基礎知識（燃消）	5問		
	③ 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）	10問		

4 受験資格等

(1) 甲種危険物取扱者試験

受験資格は、下表のとおりです。

部分はコピー
その他は原本

資格者	大学等及び資格詳細	甲種受験資格欄 記入略称	証明書類
① 大学等において 化学に関する学 科等を卒業した 方（専門職大学 の前期課程を修 了した方） （P.13の別表1参照）	大学、短期大学、高等専門学校、専修学校（備考1） ----- 大学・短期大学・高等専門学校の専攻科 ----- 高等学校・中等教育学校の専攻科（備考2） ----- 防衛大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発 大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大 学等 ----- 専門職大学の前期課程を修了	大学等卒	卒業証明書 又は 卒業証書・ 学位記 （学科等の名 称が明記され ているもの）
② 大学等において 化学に関する授 業科目を15単位 以上修得した方 （P.14～P.15の別表2参照）	大学、専門職大学、短期大学、専門職短期大学、 大学院、専門職大学院、専修学校（備考1） ----- 高等専門学校の専門科目 ----- 大学・短期大学・高等専門学校の専攻科 ----- 防衛大学校、防衛医科大学校、水産大学校、海上保安 大学校、気象大学校、職業能力開発総合大学校、職業 能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所 在する大学等	通算可 15単位	単位修得証明書 （P.13の書式例2参照） 又は 成績証明書 （修得単位が 明記されてい るもの）
③ 乙種危険物取扱 者免状を取得し ている方	乙種危険物取扱者免状の交付を受けた後、危険物製造所 等における危険物取扱いの実務経験が2年以上の方	実務2年	乙種危険物取 扱者免状及び 乙種危険物取 扱実務経験証 明書 （様式願書B面裏）
	次の4種類以上の乙種危険物取扱者免状の交付を受けて いる方 ○第3類（必須）○第1類又は第6類のどちらか1つ ○第5類（必須）○第2類又は第4類のどちらか1つ	4種類	乙種危険物取 扱者免状
④ 修士・博士の学 位を取得してい る方 （P.13の別表1参照）	修士、博士の学位を授与された方で、化学に関する事項 を専攻した方（外国の学位も含む）	学位	学位授与証明書等、 修了証明書 又は 学位記・終了証書 （専攻等の名称が明 記されているもの）

- 〔備考〕 1 ①、②の専修学校については、修業年限2年以上、総授業時数1700時間以上の専門課程に限り認められ、証明書類として表の書類のほか次のいずれかの書面が必要になります。（ただし、表の証明書類に次の(1)又は(2)の内容が記載されている場合は、次の(1)又は(2)の書面は不要です）
 (1) 専門士又は高度専門士の称号が付与されていることを証明する書面又はその写し
 (2) 専修学校の専門課程の修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に要する総授業時数が1700時間以上であることを証明する書面（P.13の書式例1参照）
- 2 ①の高等学校及び中等教育学校の専攻科については修業年限が2年以上のものに限ります。
- 3 ②の大学、専門職大学、短期大学、専門職短期大学、高等専門学校、大学院、専門職大学院等における修得単位は、卒業、在学中、中途退学又は通信教育等にかかわらず合算して算定することができます。放送大学も同様に算定できます。（P.13の書式例2参照）
- 4 ③の「乙種危険物取扱実務経験証明書」は、事業主等の証明書です。受験願書B面（裏）の様式を使用してください。
- 5 旧大学、旧専門学校、高等師範学校、実業学校教員養成所等の卒業者及び単位修得者、専門学校卒業程度検定試験合格者も受験資格を有する場合があります。詳細はお問い合わせください。
- 6 過去に甲種危険物取扱者試験の受験申請をしたことがある方は、その時の「受験票（控）」又は「試験結果通知書」（資格判定コード欄に番号が印字されているものに限る。）を提出することにより、受験資格の証明書に代えることができます（コピーでも可）。
- 7 「願書資格欄記入略称」は、受験願書A面の「甲種受験資格」欄に記入するものです。

(2) 乙種危険物取扱者試験

- ① 受験資格は必要ありません。
- ② 試験科目の免除

試験科目の免除については、下表のとおりです。既に乙種危険物取扱者免状を1種類でも取得している方は、試験科目の「法令」・「物化」の全部が免除になります。

また、第1類又は第5類の受験者で**火薬類免状を取得している方は申請により**、「物化」及び「性消」の一部が免除になります。免除資格がある方は、受験願書の科目免除欄に記入し、**免状のコピー**を提出してください（一部免除については、免除を受けた問題は点数加算されません。）。(7ページの(1)の⑤参照)

免除資格者	免除類別	試験科目	免除内容	問題数	合計	試験時間
乙種危険物取扱者免状を有する方	全 類	① 法令	全部免除	0問	10問	35分
		② 物化	全部免除	0問		
		③ 性消		10問		
火薬類免状を有する科目の一部免除申請者	第1類 第5類	① 法令		15問	24問	1時間30分
		② 物化	一部免除	4問		
		③ 性消	一部免除	5問		
乙種危険物取扱者免状を有し、かつ、火薬類免状を有する科目免除申請者	第1類 第5類	① 法令	全部免除	0問	5問	35分
		② 物化	全部免除	0問		
		③ 性消	一部免除	5問		

備考 ① 火薬類免状とは、次の免状を意味します。

- ◇ 甲種、乙種及び丙種の火薬類製造保安責任者免状（火薬類取締法）
- ◇ 甲種及び乙種の火薬類取扱保安責任者免状（火薬類取締法）

② **乙種危険物取扱者免状を取得している方**(危険物取扱者免状・火薬類免状の両方を取得している方を含む。)が**複数(2種類)受験する場合の試験時間は1時間10分**です。

(3) 丙種危険物取扱者試験

- ① 受験資格は、必要ありません。
- ② 試験科目の免除

試験科目の免除については、下表のとおりです。免除資格者に該当し、**免除を希望される方は、次の2種類の証明書類を提出**してください。

- ① 消防団員歴を証明する書類の原本（消防団長等が証明するもの）
- ② 消防学校の教育修了証の写し（消防学校長が証明するもの）

免除資格者	試験科目	免除内容	問題数	合計	試験時間
5年以上消防団員として勤務し、かつ、消防組織法第51条第4項の消防学校の教育訓練のうち基礎教育又は専科教育の警防科を修了した方	① 法令		10問	20問	1時間00分
	② 燃 焼	全部免除	0問		
	③ 性 消		10問		

5 試験手数料

試験手数料（消費税非課税）は下表のとおりです。

払込み方法は電子申請と書面申請で異なります。詳しくは「6 電子申請の方法」(P.6)又は「7 書面申請の方法」(P.7~P.8)をご確認ください。

なお、一旦払込みされた試験手数料は、お返しできません。

	甲 種	乙 種	丙 種
第2・3回目	7,200円	5,300円	4,200円

6 電子申請の方法

(1) 申請方法

インターネットで受験申請する場合は、下表の内容を確認し、一般財団法人消防試験研究センターホームページから申請してください。なお、**併願及び複数受験**を申請する方は必ず**書面で申請**してください。

種類	内 容	電子申請の可否	備 考
甲種	次の4種類以上の乙種危険物取扱者免状を取得している方 ① 第3類(必須) ② 第5類(必須) ③ 第1類又は第6類のどちらか1つ ④ 第2類又は第4類のどちらか1つ	○	※ 電子申請するにあたっての主な留意事項は、次のとおりです。 ① パソコンやスマートフォンを使ってインターネットに接続でき、受験票(PDF)を自宅やコンビニ等のプリンター、複合機で印刷できること ② 携帯電話やフリーメールアドレスは迷惑メール対策等により、当センターからのメールを受信できないことがあること(受験票のダウンロードにメールは不要) ③ 既に危険物取扱者免状を取得している場合は、免状の記載事項に変更がないこと ④ 乙種免状を取得している方で乙種試験を受験する方は、自動的に試験科目の一部が免除になること なお、詳しくは一般財団法人消防試験研究センターホームページの「電子申請に関するQ&A」を確認してください。
	上記以外の受験資格者(P.4参照)	×	
乙種	第1類又は第5類を受験する方で、火薬類免状による科目免除を希望する方	×	
	上記以外の方	○	
丙種	5年以上消防団員として勤務し、かつ消防学校の教育訓練のうち基礎教育又は専科教育の警防科を修了した方で、証明書による科目免除を希望する方	×	
	上記以外の方	○	
複数受験	既に乙種危険物取扱者免状を取得している方で、同一試験時間帯に乙種の試験を2種類受験する方	×	書面申請となります。それぞれの種類ごとに願書を作成し、同一封筒に入れて申請してください。
再受験	過去3年以内に書面申請又は電子申請し、受理された経過がある方で、同じ試験種類を再度受験する方(受験地は問いません。)	○	① 同一試験日に1種類のみ電子申請できます。 ② 甲種の申請は入力時に前回の受験票(控)又は試験結果通知書が必要です。 ③ 前回の試験日の翌日から申請できます。 ④ 試験科目の免除の内容は前回の試験と同じになります(試験科目の免除の内容は変更できません。)。

- 備考 ① 受験申請の受付時間は、受付開始日の9時00分から締切日の23時59分までとなります(24時間対応)。ただし、毎週土曜日の午前3時～午前5時は、システムメンテナンスのため、受付を中止しています。
- ② 危険物取扱者免状を取得していることによる甲種受験資格、乙種科目免除資格のある方でも、免状番号(免状の写真下に記載されている12桁の番号)のない古い免状をお持ちの方は電子申請できませんので、書面申請してください(電子申請には、免状番号の入力が必要なため)。

(2) 試験手数料の払込み方法(電子申請の場合)

電子申請による払込み方法は、次の3種類から選択できます。
 払込みには、別途払込手数料230円(消費税込み)が必要となります。

決 済 方 法	決 済 内 容
ペイジー(Pay-easy)	情報リンク方式 オンライン方式
コンビニエンスストア決済	セブン-イレブン ファミリーマート ローソン ミニストップ セイコーマート
クレジットカード決済	VISA マスターカード JCB アメリカンエクスプレス ダイナース

電子申請に関するお問い合わせ先

一般財団法人消防試験研究センター 電子申請室

専用電話(全国共通)0570-07-1000(有料)

受付時間 9時00分～17時00分(土日祝日、年末年始を除く。)

一般財団法人消防試験研究センターホームページ <https://www.shoubo-shiken.or.jp/>



7 書面申請の方法

(1) 申請に必要な書類

書面申請で提出する書類は下表のとおりです。

提出書類	留意点
① 受験願書	受験する種類（1種類につき1部）ごとに作成し、同一日に乙種の複数受験を申請する場合は一緒に提出してください。（P.10～P.11の記載例参照）
② 振替払込受付証明書(お客さま用) ※ 郵便局窓口で押印される日附印があるもの	当センター指定の「振替払込受付証明書(お客さま用) 受験願書添付用 」を受験願書B面（表）の指定の欄にのり付けしてください。（P.11参照）
③ 危険物取扱者免状のコピー	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; font-size: small; margin-right: 5px;">該当者のみ</div> <div> <p>既に危険物取扱者免状を1種類でも取得している方は、必ず受験願書B面（裏）の指定の欄にのり付けしてください。（P.11参照）</p> <p>甲種を受験される方は、受験資格を証明する書類の提出が必要です。（P.4参照）</p> <p>火薬類の免状を取得している方で、乙種第1類又は第5類の試験科目の一部免除を受ける方は、証明する免状のコピーの提出が必要です。（P.5、(2)参照）</p> <p>丙種の試験科目免除を受ける方は、資格を証明する書類の提出が必要です。（P.5、(3)参照）</p> </div> </div>
④ 甲種受験資格を証明する書類	
⑤ 火薬類免状のコピー	
⑥ 消防団員歴を証明する書類の原本及び消防学校の教育修了証（コピー可）	

(2) 試験手数料の払込み方法（書面申請の場合 P.11参照）

- ① 受験願書に同封の「払込取扱票」の金額欄に受験する試験の種類に応じた試験手数料をご記入の上、**郵便局又はゆうちょ銀行の窓口でお支払いください**（払込取扱票の「**振替払込受付証明書（お客さま用） 受験願書添付用**」に日附印が押印されていないと受験申請できませんので、ATM機では払込まないでください。また、富山県支部窓口での払込みはできません。）。
なお、払込手数料は申請者の負担となります。また、**一旦払込みされた試験手数料はお返しできません。**
- ② 郵便局又はゆうちょ銀行の窓口で受領した「振替払込受付証明書(お客さま用) **受験願書添付用**」を受験願書B面（表）の指定の欄に貼り付けてください。
本人控え用の「振替払込請求書兼受領証」が貼り付けられている場合の申請は無効ですので、「振替払込受付証明書(お客さま用) **受験願書添付用**」をお持ちの場合は、速やかに提出してください。
紛失・汚損した場合は、再度払込みした「振替払込受付証明書(お客さま用) **受験願書添付用**」を提出してください。

(3) その他

受付期間外に提出された受験願書及び記載事項等に不備のある受験願書は受理できません。この場合、提出された受験申請書類を返却いたします（返却費用は本人負担になります。）。

8 受験票及び写真について

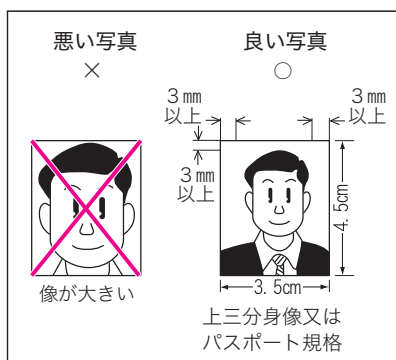
- (1) 受験票に記載されている試験日、集合時間、試験開始時間、試験会場等を必ずご確認ください。
なお、**指定された試験日及び開始時間の変更はできません。**
- (2) 受験票（控）は、合格発表の確認に必要です。また、甲種を再受験される方は、資格の証明に代えることができますので、大切に保管してください。

受験票の送付（印刷）	書面申請	試験日の1週間前までに発送します。 （複数受験者は2通届きます。） 受験票が届かない場合 又は 受験票を紛失した場合は 、試験日の前日（9時00分～17時00分（土日祝日、年末年始を除く。））までに 富山県支部（076-491-5565）へ連絡 してください。
	電子申請	試験日の1週間前までに「受験票ダウンロード可能メール」を送信します。このメールには 受験票は添付していませんので、受験票は当センターホームページの電子申請トップページからダウンロードし、印刷してください。当センターから受験票は郵送しません。 何らかの理由により当センターからのメールが届かない場合でも、受験票のダウンロードは可能です。受験票をダウンロードする際に入力する「電子申請受付番号」が不明な場合は、「電子申請状況確認」画面で確認してください。なお、それ以外のお問い合わせについては電子申請室（0570-07-1000）へ連絡してください（土日祝日、年末年始を除く9時00分～17時00分）。

(3) 写真について（書面申請、電子申請共通）— **免状の写真に使用**します。

受験時の本人確認及び合格後の免状作成時に使用しますので、**下記条件を満たす写真**を反らないようにしっかりと受験票にのり付けしてください（**セロハンテープは使用しない**・のりがはみ出さないように要注意）。

また、下記の【不適切写真例】のほか、免状用として不適切な写真である場合は、合格後に**写真の再提出を求める場合があります**。



【写真の条件】

- ・縦4.5cm×横3.5cmの大きさで、ふちがないもの（左図参照）
- ・顔の上部・両サイドの間隔は、最低でも3mm以上あけること。
- ・受験日前6ヶ月以内に撮影された鮮明なもの（カラー・白黒のどちらも可）
- ・無帽（宗教上又は医療上の理由がある場合を除く。）、無背景、申請者本人のみが撮影され、正面上三分身像又はパスポート規格。
- ・**背景と頭髪の色が同系色でなく、影がないもの**
- ・裏面に撮影年月日、氏名、年齢が記載されているもの（写真に字が浮き上がらない程度の筆圧で記載すること）
- ・デジタル写真は、従来の写真と同等以上の高画質のものに限ります。**写真専用紙に印刷し、ドット（網状の点）やにじみ等のない鮮明なもの**

- 【不適切写真例】
- ◎普通紙への印刷
 - ◎表面にキズ、汚れ、凹凸のある写真
 - ◎写真のコピー
 - ◎イヤホン、サングラスやマスクを着用した写真
 - ◎メガネフレームやメガネレンズの照明による反射、頭髪が目にかかっている写真等
 - ◎画像処理（加工修正）を施した写真

9 試験当日の注意事項

- (1) 受験票を持参してください。受験票がない場合、受験票に貼付する写真をお持ちでない場合（**試験会場には写真を撮影できる機械はありません。**）は、受験できません。
- (2) 鉛筆又はシャープペンシル（HB又はB）とプラスチック消しゴムを持参してください。
- (3) 受験票に記載されている試験日、集合時間、試験開始時間、試験会場等を必ずご確認のうえ、**試験開始の30分前に集合し、着席**してください。試験開始前に受験上の留意事項を説明します。
- (4) 試験室内では、携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ等の電子機器類は必ず電源を切り、カバン等にしまい、**試験室を退室するまで電源を入れないでください**。
また、これらの**電子機器類を時計として使用することはできません**。
- (5) 試験会場によっては、試験室に時計がない場合がありますので、自身で用意してください。（腕時計など卓上に置ける大きさのもので、操作せず時刻を表示でき、音を出さないものに限る。）
- (6) 不正行為は失格とします。また、試験監督員等の指示に従わない場合は退場を命じ、失格とすることがあります。
- (7) 本人確認のため、身分証明書（運転免許証、学生証等）の提示をお願いすることがあります。

10 試験の方法

甲種及び乙種の試験については五肢択一式、丙種の試験については四肢択一式の筆記試験です。

11 併願及び複数受験

- (1) 試験日または試験時間帯が異なる場合（併願受験）
 - (2) 同一試験時間帯の場合（複数受験）
既に乙種危険物取扱者免状を有する方のみ、**2種類まで**受験できます。試験時間は、1種類35分、**2種類受験については1時間10分です**。
- ※ 併願受験、複数受験ともに、試験の種類ごとにそれぞれの受験願書を作成し、同一封筒で申請してください。
- ※ **電子申請では、1種類のみ**の受験申し込みとなりますので、同一受付期間内で、併願受験又は複数受験を希望する場合は、**書面による申請を行なってください**。

12 合格基準

甲種、乙種及び丙種危険物取扱者試験ともに、試験科目ごとの成績が、それぞれ60%以上であること。（試験科目の免除を受けた受験者については、その科目を除く。）

なお、乙種第1類又は第5類の受験者であって、前4、(2)により試験科目の一部が免除された方については、免除された以外の問題で上記の成績であること。

13 合格発表

- (1) 合格発表は、試験日より約3週間後を予定しています。
- (2) 合格者については、公示日の正午に当センターのホームページ上に掲示するとともに、支部事務所（富山県防災センター1階玄関前）に、合格者の受験番号を公示します。また、受験者全員に結果通知書を郵送します。
なお、試験結果の可否に関する電話による問い合わせ、試験問題及びその解答に関する問い合わせには、一切応じられません。
- (3) 試験会場外での業者による試験結果通知の有料サービスは、当センターとは一切関係ありません。

14 合格後の免状交付申請の手続き

- (1) 申請の方法
合格された方は、指定された日（試験結果通知書に記載）までに、次の書類等を支部事務所へ郵送または持参してください。（簡易書留郵便で受付最終日の消印分までは、交付予定日の交付となります）
 - (2) 提出する書類等
 - ① 免状交付申請書および結果通知書（ハガキは切り離さないでください）
 - ・記載事項に誤りがないか確認し、誤りがある場合は、赤字で必ず訂正してください。
 - ・申請日、申請者氏名（受験者名）、電話番号（日中連絡のつく番号）を必ず記入してください。
 - ② 交付手数料（富山県収入証紙1種類につき2,900円分）
 - ・富山県収入証紙を購入し、申請書の裏面に貼ってください。
 - ・購入場所は、県内の警察署内交通安全協会他、富山県のホームページ「富山県収入証紙売りさばき所」で確認してください。
 - ・支部事務所では収入証紙は取り扱っておりません。窓口申請される方は事前に購入してから来所ください。
 - ・複数種類申請の方や、会社等でまとめて複数人の申請するときも、富山県収入証紙は各申請書にそれぞれ貼付してください。（まとめて合計額を貼らないでください。）
 - ・他県の方は現金書留の封筒の中に、現金2,900円と①、③、④を入れて送付してください。
 - ③ 免状送付用封筒（新規免状郵送用）
 - ・新しい免状を郵送するための封筒です。
 - ・定型封筒に送付先の郵便番号、住所及び氏名を記入し、434円分（簡易書留郵便料 令和6年4月1日現在）の切手を貼り、裏面左下に受験番号を記入してください。
 - ・簡易書留で発送しますので、不在の場合は不在票が入ります。再配達の手続きを忘れずにしてください。保管期間1週間が過ぎますと支部事務所に返送されますのでご注意ください。
 - ・複数種類申請の方は、1通の封筒に合格の受験番号をそれぞれ記入してください。
 - ・窓口で受け取る場合は、必ず申請時にお申し出ください。返送用封筒は不要です。
 - ④ 既得危険物取扱者免状
 - ・新しい免状に併記しますので、既に危険物取扱者免状の交付を受けている方は、免状を提出してください。提出しないと新免状の交付はできません。
 - ・既得免状をなくされた方は、既得免状の再交付申請（手数料1,900円）が必要となります。
 - ・氏名、本籍に変更のある方は、別途書換申請が必要です。
再交付、変更による書換の手続きが完了しないと免状の交付ができません。
 - ・タンクローリーの運転手等、免状の携帯義務がある仕事に従事している方は、ご連絡ください。
- ※ 免状交付申請期間内に申請されなかった場合、試験結果通知書に記載されている免状交付日より遅れます。
試験日から6ヶ月以上経過後に申請する場合は、撮影後6ヶ月以内の写真（1枚）が必要になります。

15 その他注意事項

- ① 試験会場は、駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。また、路上駐車及び付近の事業所等への無断駐車は、絶対にしないでください。
（駐車によるトラブルについては、当支部は一切関知しません。）
- ② 台風その他の事故等により、会場や日程の変更等、緊急のお知らせがある場合は当センターホームページに掲載します。
- ③ 試験会場にはごみ箱がありませんので、ごみは各自でお持ち帰りください。
- ④ 試験問題集及び解答カードを持ち帰ることはできません。
- ⑤ 試験室内は写真撮影禁止です。また、スマートフォン等の通信機器等の電源は必ずお切りください。
- ⑥ 試験会場では感染症対策にご協力をお願いいたします。また、会場内での会話はお控えください。

受験願書A面（1枚目）の記入例

注意事項

- 1 受験願書は必ず**受験者本人**が記入してください。
- 2 B面は切り離さず、2枚重ねて丁寧に記入してください。
- 3 書き損じた場合は、横2本線を引いて、その上方に正しく書いてください。
- 4 **住所は受験票の送付先**を記入してください。

危険物取扱者試験受験願書（全国共通）



左づめで記入してください。外国籍の受験者は住民基本台帳に記載されている漢字又はパスポートに記載されているアルファベット氏名を記入してください。

左づめで記入
住民票に記載さ
れている氏名を
記入
濁点、半濁点は
1マス

マスが不足する場
合は、郵便（受験票）
が届く程度に適宜
省略してください。

試験日を記入

試験種類を記入

「富山市」「高岡市」
「魚津市」の中から
希望する受験地を
選択し記入
(P.1 注1 参照)

甲種受験者は、P.
4の表の「記入略
称」により記入

試験の一部免除の
資格のある方は、
該当するものに○
をつけてください。

2種類の受験者は、
それぞれの受験願
書に他の種類を記
入してください。
(同時に複数の試験を
受験する方のみ該当)

危険物取扱者免状
の有無について、○
をつけてください。

既得免状（既に交
付を受けている免
状）のある方は全
て記入

元号コード
昭和：3
平成：4
令和：5

一般財団法人 消防試験研究センター理事長 殿		都道府県名	富山県		申請日	令和 06 年 04 月 22 日	
申請者 氏名	シヨウホドウ			タロウ	フリガナ・氏名は、氏と名に分けて、左づめで記入してください。		
氏名	消防			太郎			
生年月日	03 年 07 月 08 日生		本籍	富山			
郵便番号	939-8201		自宅電話番号 又は携帯電話番号	076-491-5565			
住所	富山県富山市千石町			動務先名又は学校名			
	2-4-10			(株)〇〇産業			
	アパガン名、棟番号、部屋番号等を記入してください			連絡先電話番号(携帯電話も可)			
	花603号室			076-491-6000			
				内線(119)			

* 受験する都道府県名を記入

願書を記入した日

外国人の方は、「外国籍」と記入

受験願書B面(裏)の「都道府県コード」を記入

日中連絡がとれる番号を記入
(申請書類に不備があった場合の連絡に使用)

合否が決定していないもので3ヶ月前以内に他県で申請又は受験した場合は記入してください。
3種類以上ある場合は連絡してください。

主となるものに○

試験日	令和 06 年 06 月 23 日		メールアドレス(任意)	@	
試験種類	甲種 丙種 第4類		他の都道府県での受験申請状況		
受験地	富山市		都道府県コード	試験種類	試験日
甲種受験資格	火薬類製造保安責任者免状又は火薬類取扱保安責任者免状による試験科目免除を (受ける) (受けない)		13	甲種 丙種 第4類	5月19日
科目免除	乙種危険物取扱者免状の交付を (受けている) (受けていない)				
	5年以上消防団員として勤務し、かつ、基礎教育又は専科教育の警防科を修了した者に (該当する)				
同時に複数の試験を受ける者は、この願書以外に受ける種類を記入すること	甲種 丙種 第4類		該当する職業等に1つだけ○を記入してください		
			<input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> ①以外の学生、教育・研究機関 <input type="checkbox"/> ガラピスタンド <input type="checkbox"/> 化学工業 <input type="checkbox"/> 危険物の卸売業、小売業 <input type="checkbox"/> 危険物の運送業 <input checked="" type="checkbox"/> 危険物を扱うその他の事業 <input type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> 警備業 <input type="checkbox"/> ビル管理業 <input type="checkbox"/> その他		

免状取得の有無について記入してください	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		免状番号	1164 1234 5678			
取得している危険物取扱者免状は全部記入してください	元号コード (昭和3 平成4 令和5)	免状交付年月日	交付番号	※入力番号	交付知事	コード	(記入上の注意)
甲							<ul style="list-style-type: none"> ● 本用紙は、黒色のボールペンを使用し「かい書」で記入してください ● 本用紙を汚したり、折り曲げたりしないでください ● 枠は該当するものに○を記入してください ● 免状番号は、免状写真下に記載されている番号です
乙1							
乙2							
乙3							
乙4							
乙5							
乙6							
丙	5	02	08	11	00111	富山 16	

免状の写真の下に12桁の番号が記載されている場合は記入してください。

受験願書裏面の「都道府県コード」を記入してください。
富山は16です。

※団体コード ※受付機関コード ※分類コード ※

(A面)
試験センター発行 506

受験願書B面（2枚目）の記入例

注意事項

- 1 試験手数料払込みの際に郵便局又はゆうちょ銀行の窓口（ATM機での払込みは不可）で受領した「振替払込受付証明書（お客さま用）」を受験願書B面（表）の指定の欄に貼り付けてください。
- 2 本人控え用の「振替払込請求書兼受領証」では、受験申請できません。
- 3 「振替払込受付証明書（お客さま用）」を紛失した場合、当センターでは責任を負えません。その場合は、再度払込みをしてください。

振替払込受付証明書貼付例

【受験願書B面（表）】

受験願書

申請日 年 月 日

郵便局 郵便番号

住所

電話番号

ここに「振替払込受付証明書」を貼ってください。

振替払込受付証明書（お客さま用）
 〒170-3136 東京都豊島区
 消防試験センター
 〒00170-3-136220
 消防太郎
 〒076-491-5565
 06.04.22
 0000
 000

※受験券

払込取扱票の赤枠部分「振替払込受付証明書（お客さま用）」を受験願書B面（表）に貼り付けてください。

【払込取扱票】

（必ず当センター指定の払込取扱票を使用してください。）

票

振替払込請求書兼受領証

振替払込受付証明書（お客さま用）

0:01703
136220
0764915565
06.04.22
0000
000

この部分では受験申請できません。受験者本人控えになりますので、大切に保管してください。

各種証明書等貼付位置及び実務経験証明書記入例

【受験願書B面（裏）】

各種証明書
この部分にのりづけ
なお、この部分に「振替払込受付証明書」

各種証明書等をこの部分にのり付けしてください。

都道府県等コード

北海道01	福島07	東京13	山梨18	奈良21
青森02	茨城08	神奈川14	長野20	大阪26
岩手03	栃木09	新潟15	岐阜22	兵庫27
宮城04	群馬10	富山16	愛知23	京都28
秋田05	埼玉11	石川17	徳島24	香川29
山形06	千葉12	福井19	三岐25	高松30

危険物製造所等における実務経験2年以上で甲種を受験する方のみ必要です。

乙種危険物取扱業務経験証明書

氏名 消防太郎 平成3年2月12日生

取得の危険物 第5類 品名 有機過酸化

取得の期間 平成31年1月15日から 令和6年4月1日まで
(5年1月)

製造所 貯蔵所 取扱所

証明年月日 令和6年4月1日

事業所名 甲平石油(株) 代表取締役 証明者 甲平太郎
電話 03-3460-7799

※両方必要

裏

危険物取扱者免状（コピー）貼付欄

危険物取扱者免状

氏名 消防太郎 生年月日 平成3年2月12日 本籍 東京都
種別等 交付年月日 交付番号 交付場所

06.04.22
0000
000

※各証明書等について、内容確認のため連絡をさせていただくことがあります。

危険物取扱者免状を取得している方はコピーを貼ってください（裏面に記載事項のある場合は、裏面のコピーも貼ってください。）

受験する試験の種類に応じた払込金額をご自身で記入してください。
※ 金額を訂正したものは無効

この赤枠部分「振替払込受付証明書（お客さま用）」を受験願書B面（表）に貼り付けてください。

必ず郵便局の日附印を確認してください。
※ 日附印がないものは無効

【書面申請者用の受験票】 (試験日の1週間前までに発送します。)

999-9999
〇〇県〇〇市〇〇町
1-23-45

消防 太郎

受験票

(一財) 消防試験研究センター 富山県支部
〒 939-8201
富山県富山市花園町 4-5-20
富山防災センター 2F
TEL 076-491-5565

危険物取扱者試験 受験票 (控)

複数受験者座席番号(1234)

受験番号	E1-0001	試験の種類	乙種第4類
カナ氏名	ショウタウ タロウ		
氏名	消防 太郎		
試験日時	令和00年00月00日 [1/2]		
試験会場	〇〇〇〇試験会場 〇〇県〇〇市〇〇町 1-1-1		
(試験室)	001番室		
免除科目	免除科目なし	資格判定	01
既得免状			

(注) 記載内容が変更し、訂正箇所ありましたら、ご連絡ください。訂正事項は必ずお知らせください。

受験の際は、試験会場をご確認ください。次の場合は受験することができません。

- 1 受験票がない場合
- 2 受験票に写真を貼っていない場合
- 3 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合

この受験票(控)は、合格発表の理由と再受験の申し込みが必要ですので、大切に保管してください。

(本人控え用) ← 切り離す → (試験当日持参用)

写真をのりで貼ってください。(セロハンテープ不可)

複数受験者の方は「複数受験者の座席番号」が記載されます。

住民票 (危険物取扱者免状を取得している方は免状に記載)の氏名を記入してください。

【電子申請者用の受験票】

(試験日の1週間前までに受験票をダウンロードできる旨のメールを送信します。)

注意事項

- 1 次の場合は受験することができません。
(1) 受験票がない場合
(2) 受験票に写真を貼っていない場合
(3) 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合
- 2 受験票に記載している集合時間までに入室してください。
- 3 受験票、鉛筆(1本又は10本)、消しゴムを持参してください。
- 4 試験会場への電話の問い合わせはしないでください。
- 5 不正行為及び係員の指示に従わない場合は退場を命じ、失格とします。
- 6 本人確認のため、身分証明書(運転免許証等)の提示をお願いします。
- 7 電話による会場の問い合わせは、応じられません。
- 8 試験会場外での特定業者による試験情報漏洩の有料サービスは当センターと一切関係ありませんので、注意してください。
- 9 試験日時を変更する場合は、当センターのホームページに緊急情報又は重要なお知らせとして掲載します。
特に、気象庁が発する特別警報等の防災情報に對しては、延期等する場合の緊急情報は、試験開始時間の2週間前までに掲示します。
- 10 試験会場は全部揃えます。
- 11 車、バイク、自転車での乗場はご注意ください。
- 12 その他

背中合わせ(山折り)にして、のり付けしてください

(一財) 消防試験研究センター 富山県支部
〒 939-8201 TEL 076-491-5565
富山県富山市花園町 4-5-20
富山防災センター 2F

危険物取扱者試験 受験票

複数受験者座席番号(1234)

受験番号	E1-0001	試験の種類	乙種第4類
カナ氏名	ショウタウ タロウ		
氏名	消防 太郎		
試験日時	令和00年00月00日 [1/2]		
試験会場	〇〇〇〇試験会場 〇〇県〇〇市〇〇町 1-1-1		
(試験室)	001番室		
免除科目	免除科目なし	資格判定	01
既得免状			

(注) 記載内容が変更し、訂正箇所ありましたら、ご連絡ください。訂正事項は必ずお知らせください。

受験の際は、試験会場をご確認ください。次の場合は受験することができません。

- 1 受験票がない場合
- 2 受験票に写真を貼っていない場合
- 3 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合

この受験票(控)は、合格発表の理由と再受験の申し込みが必要ですので、大切に保管してください。

切り離す

※ 試験日まで作成して持参下さい。

※ ご自身でA4の用紙に印刷してください。当センターからは郵送しません。なお、印刷する際に拡大・縮小して印刷しないでください。

※ 印字されている住所を確認してください。試験結果通知書は、記載されている住所に郵送されます。

書式例1 専修学校用受験資格証明書

○○第 号

甲種危険物取扱者試験受験資格証明書(専修学校用)

○○年 月 日 入学 ○○科○○コース
○○年 月 日 修了

氏名 ○○ ○○
年 月 日生

学校教育法第124条に定める専修学校として認可を受けた日及び文書番号 ○○年 月 日 号	
課程の名称	○○○○専門課程
修業年限	2年
課程の修了に必要な総授業時数	1700時間

上記のとおり証明する。
令和 年 月 日
(専修学校の所在地)
○○専門学校 学校長 氏名 ○○ ○○印

《注》 証明書の書式は例の内容が記載されていれば自由です。

書式例2 単位修得証明書

○○第 号

単位修得証明書

○○年 月 日 入学 ○○部 ○○科
○○年 月 日 修了

氏名 ○○ ○○
年 月 日生

化学に関する科目名	修得単位	化学に関する科目名	修得単位
有機化学	4	高分子化学	2
無機化学	4	分析化学	2
燃焼工学	3	反応速度論	2

上記のとおり証明する。
令和 年 月 日
○○大学 学長 氏名 ○○ ○○印

《注》 証明書の書式は例の内容が記載されていれば自由です。

《注》 学長等が「化学に関する分野」と認められた授業科目は、原則として、そのまま単位として認めます。

別表1

化学に関する学科等の例

- 名称の一部に「化学」の字句が含まれる学科又は課程
(ただし、明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例) 人類文化学科等)
- 次の表に示す学科又は課程等

化学に関する学科又は課程等の名称			
ア 安全工学科	コ 工業材料科	セ 製造薬学科	フ 物質生物科学科
イ 医療薬学科	ク 厚生薬学科	ゼ 生体機能応用工学科	物質生物工学科
エ 衛生薬学科	カ 高分子学科	チ 生体物質工学科	物質生命工学科
オ 応用原子核工学科	キ 高分子工学科	ツ 生体分子工学科	物質生命システム工学科
応用生物科学科	ク 高分子材料工学科	テ 生物応用工学科	物質分子科学科
応用生物工学科	ケ サ 材料開発工学科	ト 生物機能工学科	物質分子学科
応用生命科学科	カ サ 材料科学科	ト 生物工学科	物質理工学科
応用生命工学科	キ サ 材料科学工学科	チ 生物資源科学科	プロセス工学科
応用微生物工学科	ク サ 材料加工学科	ツ 生物資源利用学科	分子工学科
カ 環境生命科学科	ケ サ 材料学科	テ 生物生産科学科	分子システム工学科
環境物質工学科	キ サ 材料機能工学科	ト 生物分子科学科	分子生物学科
環境マテリアル学科	ク サ 材料工学科	チ 生物薬学科	分子生命科学科
キ 基礎理学科	ケ サ 材料物性学科	ト 精密素材工学科	分子素材工学科
機能高分子学科	キ サ 材料物性工学科	チ 精密物質学科	マ マテリアル科学科
機能高分子工学科	ク サ 材料プロセス工学科	ト 生命理学科	マ マテリアル工学科
機能材料工学科	ケ シ 色染工芸学科	チ 製薬学科	ム 無機材料工学科
機能物質科学科	キ シ 資源工学科	ト 繊維工学科	ヤ 冶金学科
機能分子工学科	ク シ 資源素材工学科	チ 繊維高分子工学科	冶金工学科
金属加工学科	ケ シ システム量子工学科	ト 総合薬学科	薬科学科
金属学科	キ シ 食品科学科	ト 総合薬品科学科	薬学科
金属工学科	ケ シ 食品学科	チ 素材工学科	薬剤学科
金属材料科学科	キ シ 食品工学科	ト 塗装科	薬品科学科
金属材料工学科	ケ シ 食品工業科学科	ハ 醗酵工学科	ユ 有機材料工学科
ケ 原子工学科	キ シ 食料科学科	ハ 醗酵生産学科	ヨ 窯業工学科
原子力科	ケ シ 森林資源科学科	フ 物質科学科	リ 林産学科
原子力工学科	キ セ 製剤学科	フ 物質科学工学科	林産工学科
原子炉工学科	ケ セ 製糸学科	物質工学科	

化学の授業科目の名称							
ハ	薄膜材料工学 醗酵学 醗酵工学 醗酵工業論 醗酵生産学 パルプ学 パルプ工学 半導体工学 半導体材料 半導体デバイス工学 反応工学 反応性物質材料 反応操作 反応速度論 非金属材料 非晶質科学 微生物遺伝学 微生物学 微生物機能学 微生物工学 非鉄材料学 非平衡論 表面・界面工学 表面工学 表面分析 肥料学 フ ファインケミカル工業分析 複合材料機能学 腐食及び防食学 物質移動プロセス特論 物質科学 物質工学 物質構造解析論 物質構造論	フ	物質生科学 物質生物工学概論 物質プロセス工学 物質分析法 物性科学 物性予測論 物性論 物体学 物理薬学 プラントエンジニアリング プロセス工学 プロセスシステム工学 プロセス制御工学 プロセスダイナミクス プロセス熱力学 分光分析 分散系物性学 分子遺伝学 分子解析学 分子機能 分子機能設計学 分子構造論 分子シミュレーション特論 分子情報計測学 分子生物科学 分子生物学 分子設計論 分子素材工学 分子熱力学 分子微生物学 分子薬理学 粉体工学 分離科学 分離工学	フ	分離システム工学 分離装置工学 粉粒体工学 平衡論 平衡・反応論 放射線計測学 放射線物性計測学 膜機能工学 マテリアル工学 ミ 水処理工学 水処理実験 水の分子工学特論 ム 無機材質学 無機材料工学 無機電子制御反応 無機薬品製造学 免疫薬剤学 木材化学 木材成分学 木材糖化論 木質材料学 木質資源化学 木質資源工学 ヤ 冶金学 冶金工学 冶金反応工学 薬科学 薬学 薬剤学 薬品学 薬品工業概論 薬品製造学 薬品製造工学	ヤ	薬品分析学 薬物学 薬用植物学 薬理学 薬効学 ュ 有機機器分析 有機機能性材料 有機金属 有機構造解析 有機材料工学 有機材料工業論 有機材料設計 有機材料表面科学 有機材料物性 有機材料レオロジー 有機電解合成論 有機反応機構 有機反応論 有機分析学 有機薬品製造学 融体物有機材料電子物性 ャ 窯業工学 窯炉工学 粒子線結晶学 量子分光学 量子力学 林産学 林産工学 林産製造学 林産物製造学 臨床薬学 臨床薬理学 レ レオロジー

試験会場

受験地	会場名称	所在地
富山市	富山国際会議場	富山市大手町1番2号 
富山市	ボルファートとやま	 富山市奥田新町7-35
高岡市	高岡商エビル	高岡市丸の内1-40 
魚津市	ありそドーム	 魚津市北鬼江 2898-3

※QRコードを読み込んで地図を表示するには、Googleマップを表示できる環境が必要です。

※駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

※近隣商業施設などへの「無断駐車」は絶対にしないでください。

違法駐車、迷惑駐車は警察に通報される場合もあります。

レッカー移動されても当センターは一切責任を負いません。

個人情報の取り扱いについて

一般財団法人消防試験研究センター（以下「当センター」という。）は、危険物取扱者及び消防設備士試験の実施と免状作成業務を行っています。

当センターは、試験及び免状事業の実施機関として個人情報を取り扱っていますので、個人情報の重要性を十分認識し、その保護の徹底を図るとともに、個人情報の保護に関する法令及びその他の関連する規範を遵守し、収集した個人情報は、正確かつ安全に取り扱います。

1 当センターが取り扱う個人情報の内容と利用目的は次のとおりです。

① 個人情報の内容

氏名、生年月日、本籍、住所、電話番号、勤務先名・学校名、職業、顔写真、メールアドレス等です。

② 利用目的

利用は、本人確認、本人への通知・連絡、試験における座席への氏名表示、受験票への表示、結果通知書及び免状交付申請書、免状作成、免状交付状況に係る事項等の当センターの業務の範囲内で行います。

2 当センターは、利用目的を達成するため、当該情報を業務委託先に預託する場合があります。その場合の業務委託処理は、個人情報を保護するための措置及び業務委託先との責任関係の明確化を図るとともに、業務機器等の安全対策を確実に実施しています。

なお、個人情報の提供は、団体受験に関し当該団体代表者へ提供するもの及び法令等に基づくものに限って適切に取り扱います。

お問い合わせ先



一般財団法人
消防試験研究センター
富山県支部

〒939-8201 富山市花園町4-5-20
(富山県防災センター2F)

TEL 076-491-5565
FAX 076-491-6000

アクセス（地図）



〈富山県防災センター〉
駅前バス乗り場⑥番から発車の
山田・速星・八尾方面行きに乗車
「西田地方2丁目」で下車

※QRコードを読み込んで地図を表示するには、
Googleマップを表示できる環境が必要です。

※ 一般財団法人 消防試験研究センターは、試験実施機関であり、受験準備のための講習会や参考書等の出版は、一切行っておりません。